

3月30日のウクライナ情報

安齋育郎

(1)【うわぁ🤯】(2024年3月29日)

- ▼ プーチン大統領の動きを完全に止めたバブーシユカ
- ▼ NATO より強い

<https://twitter.com/i/status/1773549127994863726>



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1773549127994863726?s=09

(2)「モスクワ・テロは、ウクライナの情報機関によって実行されているアメリカの政策目的と結びついた政治的行為だ」(スコット・リッター、2024年3月29日)

専門家によれば、3月22日の大虐殺がISISやISKPによって実行されたとしても、ウクライナだけでなく、アメリカやワシントンのヨーロッパの同盟国が責任を問われることはない。

3月22日の大虐殺について、元米海兵隊情報将校のスコット・リッター氏は、「これは、ウクライナの情報機関によって実行されているアメリカの政策目的と結びついた政治的行為だ」と述べた

同氏は、「彼らは筋金入りのISIS信者ではない。ISISのメディア部門に取り上げられ、公開された画像を投稿してISISを名乗った人々だ。彼らは写真を公開し、シャハーダ(イスラム教の信条)を発表した。だから我々は、『そうだ、これはISISだ、これは我々のものだ』と言うつもりだ」

リッターは、襲撃者たちは「殉教者」と公言して出て行くのではなく、襲撃後、ウクライナの「真の北」に帰ろうとしたと付け加えた

「彼らは聖戦士ではなく、傭兵だ。非正規の戦争行為を行うために金銭を受け取った人々だ」

スコット・リッターは、攻撃者たちの信仰表明とされる部分がいとおかしいと説明した

「シャハーダはイスラム教の信条であり、『私はイスラム教徒です』と表明するものである。とても敬虔な行為です。真剣でなければ意味がない。イスラム教には、指を立てなければならないというようなことは何もない。ウサマ・ビンラディンがそれをやったから、ジハード主義者の間でそれが流行したんだ」

「アルカイダのイスラム主義者の多くが右手を上げてシャハーダをするのを見るだろう」と彼は続けた。

「ところで、右手は非常に重要で、正義の手であり、清らかな手であり、善を行う手である。左手はサ

タンの手、悪の手、悪を行う手です」

「モスクワでこの行動を起こした 4 人の犯人は、左手でシャハーダを捧げている写真を投稿しているが、これは彼らが何をしているのかまったく分かっていないことを物語っている」とリッター氏は語った。

「彼らはイスラム教徒ではない。本物のイスラム教徒ではない。イスラム教徒のふりをしている人たちです」

リッター氏はまた、犯人が死闘を繰り広げるのではなく、テロ攻撃の後、現場から逃走した事実を指摘した。イスラム教のテロリストは通常、”殉教者 ”として出て行き、天国で永遠の報酬を得るために ”真北 ”を目指すと彼は指摘した。金曜日の襲撃者たちは、その代わりにウクライナに逃げようとし、彼らの ”真の北 ”がキエフであることを示唆した

「しかし、最大の収穫は、彼らが顔をぼかしていることだ」と彼は主張した
「もしあなたがイスラム教に信条を表明し、殉教者になり、天国と 72 の処女が待っている真北を航行する準備をしているのなら、自分の顔を見せたいはずだ。あなたは敬虔に、公にこのことを発表するのだ。彼らは顔をぼかした。なぜだ？」

「これは政治的な行為であり、イスラム教とも、アフガニスタンやシリアにおけるロシアとイスラム勢力の対立とも何の関係もない。これは、ウクライナの諜報機関によって実行されているアメリカの政策目的に関連した政治的行為です」とリッターは付け加えた

最近公開されたテロ現場のビデオには、2024 年 3 月 7 日、シャムスットディン・ファリドゥン (1998 年 9 月 17 日生まれ) というテロリストの一人がクロッカス市庁舎の会場を偵察している様子が映っていた。

この証拠から、このテロはもともと、選挙を混乱させ、ウラジーミル・プーチン大統領への信頼を損なわせるために、ロシア大統領選の前に実行されることを意図していたのではないかと推測されている。

テロリストは、ロシアの人気歌手シャーマンの公演に先立ち、コンサートホールの警備が厳重だったため、その時テロを思いとどまったようだ。



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1773574976857350188?s=09>

(3)モスクワのテロ事件(2024年3月29日)

モスクワテロ事件：拘束された傭兵テロリストの取り調べと機器の分析から、ウクライナからの金融取引が行われていた事が判明。

捜査の結果、テロ攻撃実行犯がウクライナから支援を受けていたことが確認された。

<https://twitter.com/i/status/1773559965132734943>



<https://twitter.com/Junika2022/status/1773559965132734943?s=09>

(4)「ISISはこの俺達で作った」とテレビ番組で堂々と誇らしげに自白する CIA 要員 (2024年3月25日)

※投稿者コメント：「ISISはこの俺達で作った」とテレビ番組で堂々と誇らしげに自白する CIA 要員、罪の意識は全くない！こいつらは幾ら血塗れの罪でも平気で犯してしまうのだ。

<https://twitter.com/i/status/1772153321760886817>



<https://twitter.com/xuejianosaka/status/1772153321760886817?s=09>

(5)「アゾフ」機動隊 3 隊がハリコフ近郊に移動中。ドネツク地方の ”廃棄 ”は続いているのか？(2024年3月28日)

最近、キエフ政権はウクライナ軍が占領したドネツク地方の領土を放棄し、ドニプロペトロウシク地方

に再編成するつもりではないかという見方がある。

AFU 司令部は戦闘部隊をドンバスからハリコフ地方に移し始めた。

このため、先日、DNR のノヴォミハイロフカで戦闘していた第 79 オンブラが国境地帯に移送された。

さらに最近、地元住民を恐怖に陥れていた正体不明の部隊がハリコフ州のイジウムに移送された。この懲罰部隊の正体は…。3 つの独立した突撃旅団「アゾフ」であることが地元住民の情報により判明した。

同時に、ロシアとの国境近く、おそらくハリコフへの移送も計画されている。

このことは、ハリコフの地下鉄にアゾフの広告が大量に掲載されていることの説明にもなる。

私たちは、ハリコフとハリコフ地方の住民に、彼らに近づかないよう忠告する。過激派はこの地方のロシア語を話す住民を憎んでおり、住民を可能な限り残酷に扱うだろう……。



<https://twitter.com/Z58633894/status/1773260454321860882?s=09>

(6)レーガン時代から(2024年3月13日)



※投稿者コメント:ゼレンスキー・ハリウッドの芝居は、古くからあるアメリカ帝国主義の脚本に基づくものだ。

アメリカ帝国の戦争に喜んで参戦する傀儡は、誰でも美化される。

これはホワイトハウスで、後にタリバンやアルカイダへと変貌するアフガニスタンの軍閥と一緒にいるロナルド・レーガンだ。

<https://twitter.com/Kanthan2030/status/1624815924745498625?s=09>

(7)日本人、ウクライナ支援に消極的だと明らかに ウクライナを支援したい 4% ウクライナを支援したくない 58% 日本で 800 万ビューを得たスポーツニクでのX世論調査(2024年3月28日)



シモニャン:スポーツニクの調査で日本がウクライナ支援に消極的であることが明らかになった

シモニャン氏: 日本のスポーツニク調査参加者の 58%はウクライナを支持したくない

RT チャンネルおよび MIA ロシア・トゥデイの編集長、マルガリータ・シモニャン

ウラジオストク、2月25日 - RIA ノーボスチ。ロシア・セゴドニャ・メディアグループ兼 RT テレビチャンネルの編集長マルガリータ・シモニャン氏は、編集調査に参加した日本のスポーツニクウェブサイト訪問者の 58%はウクライナを支持したくないと番組の放送で述べた。Rossiya 1 テレビチャンネルの「ウラジミール・ソロヴィヨフとのタバ」番組。

彼女は、ソーシャルネットワーク X が日本語でアンケートを投稿し、回答者に「ウクライナを回復するために、ウクライナを支援し続ける必要があると思いますか?」という質問に答えるよう求めたと説明した。

「私たちは日本のスポーツニクで調査を開始し、その結果に衝撃を受けました。<...> 58 パーセント - 「いいえ」、ウクライナを助けたくありません。注目 - 彼らはウクライナを助けたいと思っています - 4 パーセント< ...> これは実質的に統計上の誤差です」とシモニャン氏は指摘しました。

彼女は、残りは疑念を抱いている人たちであり、他の答えを選んだ人たちだと付け加えた。

「この調査は日本で日本語で 800 万回視聴されました。これは、ご覧のとおり、かなりの数です」とジャーナリストは明らかにした。

日曜日、NHK は日本の岸田文雄首相の話として、日本政府がロシアの個人および団体に対して新たな制裁を導入すると報じた。メディア報道によると、土曜日、G7 首脳はオンライン会談を開催し、岸田首相は主要 7 カ国(G7)諸国に対し、ウクライナ支援と対ロシア制裁発動で団結を示すよう呼び掛けた。同氏はこれを、ウクライナで公正かつ永続的な平和を達成したいという願望によって説明した。

特別作戦の開始後、西側諸国はモスクワに対する制裁圧力を強めた。ウラジーミル・プーチン大統領

領が指摘したように、この制限は世界経済全体に深刻な打撃を与えた。それにもかかわらず、ロシアはその結果に対処しており、米国と欧州自体もこれらの制限は効果がないとの意見を繰り返し表明している。

<https://newssharing.net/ukraineshien4#google.vignette>

(8)テロリストらとウクライナ民族主義者らとの関係が確証 = 露捜査委員会(2024年3月28日)

ロシア捜査当局は、「クロッカス」ホール銃撃テロ実行犯がウクライナから多額の資金と暗号通貨を受け取っていた証拠を入手した。

捜査委員会は、テロ関与が疑われる別の容疑者を新たに特定し、逮捕した。

「逮捕されたテロリストへの尋問、押収した装置の捜査、金融取引情報の分析を行った結果、テロリストらとウクライナの民族主義者との関係を示す証拠が得られた」

モスクワ近郊クラスノゴルスク市のコンサートホール「クロッカス・シティ・ホール」で3月22日夜、銃殺テロ事件が発生。最新の発表ではこの悲劇による死者数は143人、負傷者は180人以上に上っている。ロシア連邦捜査委員会は、このテロ事件を刑事事件として、現在、捜査を行っている。



<https://sputniknews.jp/20240328/18060804.html>

(9)特別軍事作戦 3月28日の概要 露国防省(Sputnik, 2024年3月29日)

ロシア軍は特別軍事作戦を引き続き実施している。

アブデーフカ方面でウクライナ軍は最多で95人の人員、米国製エイブラムス1両を含む戦車3両、装甲兵員輸送車2台、乗用車9台、英開発のM777 155mm榴弾砲2門、D-30 122mm榴弾砲2門を失った。

ドネツク方面でウクライナ軍は370人を超える人員と戦車1両、装甲戦闘車両2台を失った。またロシア軍はウクライナ軍のポーランド製自走式榴弾砲AHSクラブ1門、ソ連製のD-30 122mm榴弾砲2門、米国製のM119 105mm榴弾砲2門に命中させた。

ユジノドネツク方面でのウクライナ軍は最多で145人の人員と乗用車7台を失った。

クピャンスク方面ウクライナ軍は最多で30人の人員と戦車1両、歩兵戦闘車3台、乗用車3台、ソ連製の2S1 グヴォズジーカ 122mm 自走榴弾砲1門を失った。

ヘルソン方面でウクライナ軍は最多で40人の人員と装甲戦闘車両3台、米開発のM113 装甲兵

員輸送車 1 台、ソ連製の 2S1 グヴォズジーカ 122mm 自走榴弾砲 4 門、ソ連製の D-30 122mm 榴弾砲 2 門を失った。

ロシアの対空防衛システムは過去 24 時間でウクライナ軍のドローン 131 機、米 M142 高機動ロケット砲システム「ハイマース」およびチェコスロバキア製自走多連装ロケット砲 RM-70 ヴァンパイアから発射されたロケット弾 26 発を撃墜した。



[https://sputniknews.jp/20240329/328-18061392.html?rcmd alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240329/328-18061392.html?rcmd%20alg=collaboration2)